

より良い有田市をめざして ～新年度へかける想い～



先の有田市議会3月定例会で平成26年度予算の承認をいただきましたが、一つひとつとどれをとっても市民の皆さんの生活に深くかわりのあるものばかりですので、創意工夫しながら市政運営を行ってまいります。

さて、私はこれまであらゆる場で、幾度となく「誇れるまち」というキーワードを皆さん方にお伝えしております。今年度はその想い、ビジョンを形にして皆さん方にお示しする大きな一歩を踏み出す覚悟です。

そのために必要なことは？それはこのまちを愛する私たちがまちの歴史を学ぶということは勿論のこと、私たち自らが後世に確かな歴史の1ページを記していく、つまりはまちの歴史づくりに参加していくということが大切ではないでしょうか。お互いの想いを共有し、認め合い、尊重しながら、建設的な議論の場や環境づくりをすることで未来のまちの設計図が生まれるのだと思います。例えこれまでと同じことをするにしても、昨年以上にこだわりと情熱をもって創意工夫をし、考えられることややれることはやり尽くす、そんな気概をもって挑戦していきたいと思えます。

移り変わりの激しい時代でありますが、目の前を通り過ぎるさまざまなことを見落とすことなく、チャンスをつかみ捉えていく、そのためには将来の有田市をどうしていきたいのか、どうありたいのかを日々考える、その積み重ねが大切だと思えます。

時間軸で考えますと、目の前の課題には速やかに対応していかなければなりません。同時に中期的ビジョンもしっかりと描き、目標やゴール設定を明確にしながらか、着実に進めていかなければなりません。しかし、一定の時間を要する施策については、その過程が見えにくく、何も進んでいないのでは？と思われるがちです。そこはしっかりとした広報・広聴が必要であり、日頃から市民の皆さん方としっかりコミュニケーションをとることが不可欠です。

市民の皆さん方の心が明るくなる、有田市発の新たなまちづくりモデルを発信していくためにも「市民協働」を合言葉に、新たな歴史の1ページを記していきます。

有田市長 望月良男

有田市津波ハザードマップを配布します

【問】防災安全課（内線212）
有田市津波ハザードマップを、各世帯に順次配布します。

このハザードマップには、2つの津波浸水域を表示しています。1つは、千年から万年に一度発生するかどうかという「南海トラフ巨大地震」による津波の浸水域です。もう1つは、約百年に一度発生すると言われる「東海・東南海・南海三連動地震」による津波の浸水域です。

東日本大震災では、ハザードマップの津波浸水域外でも、津波による被害がありました。

箕島駅がバリアフリー化されました

【問】経営企画課（内線219）

JR西日本和歌山支社と連携して進めてきました箕島駅のバリアフリー化整備事業が3月に完了しました。今回の工事により、エレベーターの新設、電車とプラットホームの段差解消、こ線橋の手すり改修などが行われ、高齢者、障がい者、お子様連れの方や、本市を訪れるお客様にも利用しやすい駅となりましたので、観光など産業の振興に資することも期待されます。



広告 市収入の一部とするため有料広告を掲載しています。

